



# 平成29年度 埼玉県学力・学習状況調査グランドデザイン



## 調査の目的

本県の児童生徒が学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

### 背景1

学力向上の必要性

### 背景2

これまでの調査の課題

### 指導改善の方向

第2章 調査結果の概要

(P23~27)

第5章 学習指導のポイント

(P73~107)

### 調査の実施

- 調査日 平成29年4月13日(木)
- 調査対象 小学校第4学年~中学校第3学年
- 調査内容 小学校第4学年~第6学年:国語、算数、質問紙  
中学校第1学年:国語、数学、質問紙  
中学校第2・3学年:国語、数学、英語、質問紙  
市町村教育委員会、各小・中学校:質問紙

各学校における  
・校内研修  
・学力向上の取組

全ての  
学年・教科へ

### 活用の方向

第3章 調査結果の活用

(P29~52)

〈参考〉質問紙調査の分析

(P109~119)

新たに見えてくる児童生徒の姿

- 学力と学習方略の関係
- 学力と非認知能力の関係など

各家庭へ

学級懇談会、学校便りなど

### 復習シートの活用

- 定着を図り、より伸ばすために
  - 繰り返し学習による課題の克服
- 県ホームページへ

### 学力

知識・技能  
思考力・判断力  
表現力

### 調査結果の詳細な分析

県教育委員会、各市町村、各小・中学校

主体的に学習  
に取り組む  
意欲・態度

調査結果を活用し「さらに伸ばす」「課題を克服」  
第4章 特徴的な学校の取組の紹介 (P53~69)

一人一人の学力を確実に  
伸ばす教育の推進

○全国学力・学習状況  
調査の成果

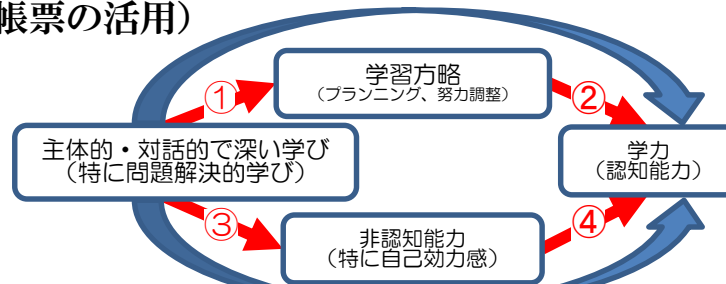
(コバトン問題集の活用)



○「チーム埼玉」学力向上パワーアップ事業

「未来を生き抜く人財育成」学力保障スクラム事業

○埼玉県学力・学習状況調査データ活用事業  
(追加帳票の活用)



### 個人結果票

児童生徒一人一人に対して

- ・教科に関する調査の結果
- ・質問紙調査の結果
- ・学習に関するアドバイス

### コバトンのびのびシート

児童生徒を多面的に把握

- ・様々な調査結果の一元化
- ・教員の指導方法等の共有
- ・次年度への引き継ぎ